

議 事 概 要

【 名 称 】	第 1 回前橋市中心地区クリエイティブシティ推進協議会
【 日 時 】	令和 6 年 3 月 2 6 日（火）午後 3 時～午後 4 時
【 場 所 】	前橋市役所 1 1 階 北会議室
【出席者】	
会 長	大 野 誠 司 前橋市副市長
副 会 長	宮 前 勝 美 群馬県県土整備部技監 飯 塚 佳 雄 前橋市都市計画部長（前橋市アーバンデザイン協議会会長）
委 員	吉 田 樹 福島大学准教授/前橋工科大学特任准教授 堀 込 隆 邦 前橋市自治会連合会桃井地区代表理事/紅雲町二丁目自治会長 松 澤 正 幸 前橋市自治会連合会中央地区代表理事/表町一丁目自治会長 平 方 宏 前橋商工会議所 常議員 まちづくり専門委員会委員長 細 谷 精 一 前橋市未来創造部長
アドバイザー	谷 川じゅんじ J T Q株式会社 代表取締役 橋 本 薫 前橋まちなかエージェンシー代表理事
オブザーバー	金 井 亘 群馬県県土整備部都市整備課長 田 中 佑 典 群馬県知事戦力部交通イノベーション推進課長 松 井 紀 群馬県県土整備部前橋土木事務所長 五十嵐 紳一郎 前橋市都市計画部市街地整備課長 村 井 誠 志 前橋商工会議所常務理事 兼 事務局長
事 務 局	群馬県都市整備部都市計画課 前橋市都市計画部都市計画課

1. 開会挨拶（事務局）

2. 資料説明

- ・前橋市中心地区クリエイティブシティ推進協議会設置要綱【資料 1】
- ・前橋市中心地区クリエイティブシティ推進協議会委員名簿【資料 2】
- ・「県庁～前橋駅クリエイティブシティ構想 国際デザインコンペ」について【資料 3】

3 意見交換（要点）

(1) 【委員からの意見・質問】

- ・街並みや道路空間をデザインする今回のコンペの目的は素晴らしいものと感じる。

- ・本コンペで選定した最優秀提案者のデザインをもとに実際の整備を行うのか。

【事務局からの説明】

- ・本コンペで選定した最優秀提案者のデザインを基軸とし、今後の道路空間のレイアウトやまちづくりの検討を進めたいと考えている。

(2) 【委員からの意見】

- ・資料3によると、本コンペの目的については「従来の道路機能の向上」に留まるような印象を受けるが、資料1では本協議会の目的について「新モビリティへの対応」や「快適で安全な公共交通の運行」、また「ウォーカブルな道路空間の創設」など道路空間の構造や機能、交通再配分の検討を想定するような書き方となっており、方針に微妙な差異を感じる。

【事務局からの説明】

- ・「新モビリティへの対応」等については、国、県、市で調整のもと公募要領の開催趣旨に記載する予定である。
- ・本コンペはMaaS等新たなモビリティサービスに対応した道路の検討や、歩行者中心のウォーカブルな道路空間の創出、また街並みと一体となった構想デザインの必要性から実施するものである。

(3) 【委員からの意見・質問】

- ・自分たちの街がきれいになっていくことは良いことだと感じる。
- ・以前から検討されている本町二丁目五差路交差点の改良について、現在の状況を伺いたい。

【事務局からの説明】

- ・当該交差点周辺では、自動運転バスの社会実験や前橋市アーバンデザインに基づくウォーカブルなまちづくりの推進、GunMaaSによる公共交通の利便性向上などの新たな取組が進められている。
- ・これらを踏まえ、交差点改良の整備効果を高めるため、今回のコンペで選定する構想デザインを活用していきたい。

(4) 【アドバイザーからの意見】

- ・人口減少社会の中で、次世代にどのような「まち」を引き継ぐかを考える重要な時期にあると感じている。
- ・前橋ではまちづくりの機運が非常に高く、ハードだけでなくスマートシティの取組も全国的に見て先進的であり、今後の発展に大きな期待を寄せている。
- ・本コンペは、これまで交通需要の増加を前提に形成されてきた都市・道路空間に新たな価値を見出し、将来あるべき姿を示すきっかけになると感じている。
- ・この「前橋市中心地区クリエイティブシティ推進協議会」が地元として議論を深める場を担うことで、本構想の実現性が高まると考える。